



写真・市谷 健「お日さまって、あったかいね」

どうか一日も早く

兵庫県のダスキンあこうのお客様係り、片山寿美子さんから担当部署にこんなお便りが届きました。

——わたしの地域も台風二一号に襲われ、たくさんの家が床上浸水し、お客様が何軒も被害を受けました。どうぞされているか気になって、何か役立つものかと考えて、とりあえず台所用スポンジをもつてきました。

伺うことがお邪魔ではないだろうか、どう言葉かけたらいのか、不安な気持ちでした。泥水にまみれて使えなくなっ

た家具や形が崩れてゴミになってしまったものがどの家でも玄関先へ山積みになっています。そのなかをぬつて、「こんにちは」と声をかけました。「おそうじに使ってください」とスポンジを手渡すと、「やあ、ダスキンさん来てくれたんや。ありがと、使わせてもらっわ。ほんとにありがと」。嬉しかったです。わたしは「来てよかった」と、さっきまでの不安な気持ちは消えて、胸が熱くいっぱいになりました。

お店で上司に話すと、「これ使つて、困っている人に」とスポンジの詰まった箱を渡してくれました。わたしは、その箱を

かかえて被災されたお宅を一軒一軒配って歩きました。できることをしたいという気持ちに共感して、商品を出してくれたお店に感謝しています。

この一年、何回も大きな台風が上陸したり新潟は強い地震に襲われたり自然災害が多かったですね。片山さんやお店の方のような気持ちを大切に、ダスキンもさやかに身の丈にあったことを、させていたしましたが、被災された方々の暮らしが一日も早く元に戻るようにと願っております。

株式会社ダスキン社長 伊東美幸

喜びのタネまき新聞

no.421

読む人の幸せを心に願って作る

寒い日々を 熱く生きる

三木亨 北海道・ピナフェイルド風曜日

417号で紹介した、摩周湖に近い「風曜日」。脱サラの夫と短大講師の妻が始めたユニバーサルデザインのプチホテルです。ちょうど1年ほど前のある日、北海道は吹雪でした……。

地元の人によると約30年ぶりの暴風雪。大自然の前に人間の存在など小さい。驕るべからずと自らを戒めたのは心細さからか。ずっと届かなかった新聞や郵便物が一度にドサツと来ると、妙に浮き浮きした気分になったりして。

天気になったとたん除雪に取りかかる。玄関前に続き、埋もれた車を掘り出すのに2日かかり、翌日は筋肉痛。ホテルは休業だと思ったら、摩周野自治会の会長から、同じ部落の方が亡くなり葬儀は町のお寺でと連絡が入る。

こちらでは葬儀も合理的だ。自治会のメンバーが即集まって役割分担し、2日間の運営から最後のゴミ処理まで行う。香典には領収書が発行され、香典返しも会食もない。メンバーは牧場主が多く、途中、搾乳のために席をはずすが、仕事がすむと戻ってくる。

しかしである。当日は猛吹雪で車も走れず、集

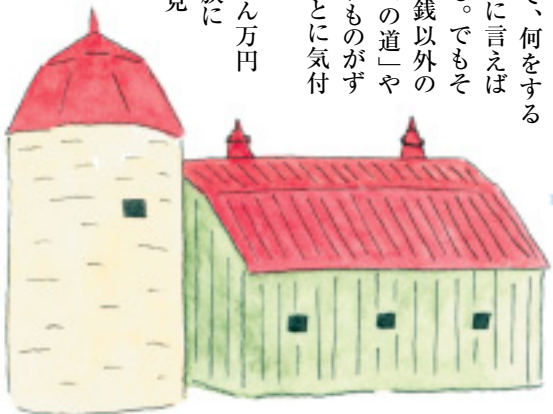
合できず、役場の除雪力は当てにできない。このお手上げ状態にわが自治会はすこかった。北海道に来て6年目にして、大自然と向き合ったことのない私の、ペラペラの都会暮らしの日々を痛感したのであります。

メンバーは自宅のシヨベルカーで町まで来て除雪を開始、一気に道路を開け、駐車場を確保。葬儀が無事終了したばかりか、当日の夜、ホテルをすっぽり覆っていた雪を取り除いてくれた。おかげで翌朝は、1週間ぶりに館内に陽が差し込んだ。葬儀のおかげと言えば不謹慎だが、うれしかった。

「北海道の人は心が温かく親切」と道外の人によく言うが、「そうではないの！自分ひとりでは何も出来ない事を知っているからなの！」これはうちの地主さんの言葉です。

都会の生活はまず金銭で、何をしても代償が求められる。逆に言えば金さえあれば何でも出来る。でもそうだろうか？ここでは金銭以外のことがむしろ重要だ。「人の道」や「真心」といった目に見えないものがずっと大切なのだと事あるごとに気付かされる。

ちなみに今回の葬儀は、ん万円
の黒字だったそう。ご遺族に負担をかけないシステムが見事。営業マンだった私の、すぐ金銭の事を考えるペラペラ
体質、大いに恥じとります。



え・中村みつを

私が外出する日の
お父さんの
夜のおべんとう



青木美代子
お料理研究家

ハフハフ食べたいアツアツ変り鍋 「軟骨入りつくねとキノコ鍋」

年末からお正月、幕の内が過ぎるまで、考えてみればこった料理が多かったみたい。
かんたんで変わった美味しいもの、ないの？
で、冬にはもってこいの鍋。昼間の外出なら下準備して。寒さに凍えて帰宅する頃には、「鍋奉行」のお父さんが仕切っています。

軟骨入りつくねとキノコ鍋

ニラ2分の1束、玉ねぎ小1個をみじん切りにし、塩少々をふりしぱくしてから水気をきつく絞る。鶏肉500gに包丁で叩いた鶏軟骨適量と用意のニラ、玉ねぎを混ぜる。そこへ長芋100〜150gのすりおろし、塩コショウ少々、オイスターソース、薄口しょう油各大さじ1と2分の1を加えて粘りがでるまでよくこねる。鍋にだし汁と鶏がらスープ適量を入れて煮立て、鶏挽肉を丸めて入れる。鶏に

火が通ったら椎茸、えのき、しめじ等のきのこやお好みの野菜を加えひと煮立ちさせ、仕上げにしょう油少々を入れて味を調え青味を入れて食す。コリコリとした軟骨の食感とオイスターソースの風味が新感覚。旨味こつりりだして、うどんや雑炊は一口食べた忘れられない美味しさです。寒い日は、あったかいお鍋が一番のご馳走。

数の子入りポテトサラダ

数の子は薄い塩水につけて塩を抜き薄皮をむく。おせち料理の残りで充分OK。じゃがいも、にんじん、玉ねぎ、きゅうりのスライスで作るいつものポテトサラダに数の子を加えただけで高級感とオリジナリティが出ます。口の中に広がる数の子のプチプチ感が美味。一度お試しあれ。



おかげさまで応募総数は4,394枚にもものぼりました。

「あなたの喜ぶ顔」フォトコンテストに、たくさんの作品をご応募いただきました。編集部には締切直前の一週間で1,000枚以上が届いて、うれしい悲鳴でした。ほんとうに4,000以上の笑顔が大集合するってスゴイです。どれも素敵で困りましたが、厳正な選考を行い、入賞50作品を決めさせていただきました。どの方か内緒ですが、優秀賞には70代のおばあちゃんが2名いらっしゃいました。

「あなたの喜ぶ顔」フォトコンテスト

優秀賞

の結果発表

優秀賞は下記の作品に決定いたしました。

「喜びのタネまき新聞」の表紙を飾っていただきます。おめでとうございます。

「海の男」

福島県 高木志津夫

これは、「うまい!」。被写体のおじちゃんとの会話の中から出てきた、本当に笑顔がよく出ています。おじちゃんの人柄ややさしさがにじみ出た素晴らしい写真です。



「かわいい孫たち」 青森県 齋藤礼子

撮影者のおばあちゃんとお孫さんたちの関係がわかる、やさしい写真です。子供達が素晴らしい表情で、仲良く楽しい情景がよく出ています。「孫達の喜ぶ顔がみたい!」といったテーマが合いそうな写真です。



総評：4,000枚を越える応募に驚いています。本当に素晴らしい多くの笑顔に出会えてよかったと思います。技術的に上手い下手と言うより、表情や情景を重視して選考しました。優秀賞に関しては偶然、撮影者の多くが女性で、見つめる目の愛情深さを感じました。 選考委員長 市谷 健 (写真家)



「爽やかな微笑み」 京都府 山田高士

バイクに乗った女性の笑顔が素敵で、シャッターチャンス逃がさず、瞬間的な素晴らしい笑顔がよく撮れている自然な写真です。撮影の情景も自然で懐かしさを感じさせてくれます。



「おじちゃんと孫」 秋田県 中村テル子

本当にいい笑顔が自然に表れている、いい写真です。おじちゃんとお孫さんの仲の良さが、一目で伝わります。撮影者が身内だからこそ撮れる写真です。

入賞



「海 大好き!」
千葉県 赤池麻美



「どろんこ遊び」
静岡県 小山勝二



「ともだち」
兵庫県 近藤ひろえ

「アップル スマイル」
沖縄県 長堂嘉秀



「輝働賞! 拍手」
東京都 伊藤哲夫



「おにいちゃ〜ん!」
富山県 分部朋子



「みんなでお風呂」
広島県 仙波浩司



「ふたりで採ったんだよ!」
長野県 千代登



「笑顔の天使」
愛知県 金澤英樹



「卒業の日」
香川県 横山昭人

佳作

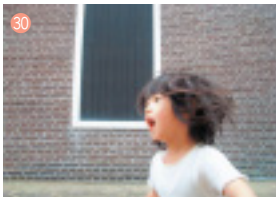
●審査について ご応募いただいた作品を、まず喜びのタネまき新聞編集部で予備選考して約3000作品に絞りまし
それを表紙写真でおなじみの写真家市谷雄さん、喜びのタネまき新聞のアーティストレクタール金子卓さんとタスキケン広
報・広告部の4名で本選考を行い、50点の入賞作品を決定いたしました。
●写真の発表について この号で紹介している作品は、写っている方のご同意をいただいているものに限ります。
ご同意がただけ次第掲載させていただきます。掲載の有無にかかわらず、賞金と記念品はお贈りさせていただきます。
なお、表紙に届いていない方 優秀賞/山梨県 小林栄子さん 佳作/岩手県 武居節子さん/神奈川県 岩瀬充さ
●ご同意が届いていない方 優秀賞/三重県 日沖篤郎さん/大分県 野中正敏さん





- ①「完走の喜び」 北海道 柳堀利和
- ②「旅立ちの日」 秋田県 久保一重
- ③「まつりだ わっしょい」 茨城県 中嶋文子
- ④「若者」 群馬県 大岡雅人
- ⑤「ママ!聞こえたよ!」 群馬県 関口昌子
- ⑥「仲良し」 群馬県 今泉幸一
- ⑦「はじける笑顔」 栃木県 田中睦子
- ⑧「ひと休み」 栃木県 片山久子
- ⑨「親子の絆」 千葉県 山路ひろし
- ⑩「昼休み」 東京都 栢管楽
- ⑪「田植えの後で」 東京都 今井都彦
- ⑫「いい湯だね」 神奈川県 清村喜久男
- ⑬「楽しい記念写真」 神奈川県 内藤正太郎
- ⑭「仲良し」 静岡県 飯田忠雄
- ⑮「今日も元気で」 静岡県 滝井千恵子

- ⑯「笑って」 静岡県 大石陽子
- ⑰「超笑顔」 愛知県 松井満雄
- ⑱「世間話に大笑い」 愛知県 浅岡由次
- ⑲「観喜カンキ」 滋賀県 東山昌弘
- ⑳「ねこちゃんともだちになってね」 三重県 宮浜万穂
- ㉑「祭りの日」 三重県 中世古隆男
- ㉒「そよ風」 三重県 萩原清春
- ㉓「童心にかえて」 京都府 川畑有輝
- ㉔「お祭りの顔」 奈良県 高橋肇
- ㉕「青春」 大阪府 山本一朗
- ㉖「ちびっ子美人」 兵庫県 田中清司
- ㉗「フェース」 香川県 石角尚義
- ㉘「まあとおいちゃん」 愛媛県 山本美保
- ㉙「骨董市の小父さん達」 愛媛県 木網武雄
- ㉚「まてまてー」 福岡県 梅野照男





ランドセル

愛媛県大三島町 堀田鶴雄

大正一三年瀬戸内の島の貧農に生まれた私は、同年、父を亡くした。島ゆえ田は少なく、白いご飯は年数回。段々畑の作物は除虫菊、麦、サツマイモ、粟、キビ。主食は麦とイモで、おかずは味噌と沢庵。貧しかったが幸せに暮らしていた。

姉は小学校を首席で出たが、師範学校の夢をあきらめ高等小学校へ。その後見習い看護婦になり、私の入学時にランドセルを送ってくれた。言葉で言い表す事のできぬほど嬉しくて、毎日、ランドセルを背負い、狭い家の中を走り回った。

姉は看護婦の資格を得てからは「少年倶楽部」を送ってくれ、クラスの皆に回し読みさせた。私は勉強が最下位でも鼻高々だった。卒業後は見習工になり、姉の仕送りで夜間学校に通った。

敗戦で復員した私は、老いた母の元へ帰農。身体を壊して農業を離れ、姉の世話で看護士になった。八三歳で亡くなるまで、私の衣類は姉が全て買ってくれた。世話になりっ放しだった。ふる里で姉を偲びつつ、墓に参る私である。

——ねえさん……。



手袋

静岡県富士市 平澤隆子

手袋を片方なくしたのは寒さの厳しい頃でした。夫が買ってくれた唯一の皮の手袋だったので、あきらめきれずにずいぶん捜しました。

それが数ヶ月後見つかったのです。人通りの激しい道端で。うちはプロパンガスで配達日に代金を払いますが、留守の時は、後で店まで出向きます。その道で気付かずに通り過ぎようとして、なぜかハッと目が行ったのです。

色も変わってシワクチャでしたが、帰宅して片方と比べると確かに私のものでした。春も盛りの今日、もう機会はなくなると、必死で私を呼んだのでしょう。色違いでもきれいに洗って大切にしまっけて置きました。

——お便りは4月でした。この冬、手袋は温かいですか？



しあわせ？

東京都府中市 小坂茜

高校3年生の3学期でした。ふとしたキッカケで、部活の後輩が両親から虐待を受けている事を知りました。容易ならぬ事に驚いた私は、それでも彼女を助けたくて話し合い、説得して、とうとう児童相談所に行くことになりました。

行く前は、何度も迷いました。正しいことだと思っているが、本当に正しいのだろうか。一旦相談所に行ってしまうえば、彼女は家に帰れなくなり、弟たちにも会えなくなる。それは、彼女にとって幸せなことだろうか。

悩んだあげく、彼女は虐待から逃れることを優先させて相談所へ。その後、私は地方へ。就職が決まっていた私は地方に配属されたのです。

以来4年近くが経過。彼女から出産の知らせが届きました。幸せそうな写真とともに。「よかった」とほっとすると共に、「あれから、どうしていたの。今は幸せですか？」と聞いてみたい気持ちでいっぱいです。

——あれから、あなたは。



うちの宝

福岡県吉井町 竹藤薫

結婚して13年、5月に第4子を出産しました。はつきり言って予定外の妊娠に戸惑いましたが、命を大切にしようと思いました。子供好きの主人は結婚した時から4、5人欲しいと言っていたので喜んでいましたが、私は一人っ子の上、母が早くに他界し父も身体が不自由です。だから10ヶ月は不安と希望と緊張の連続でした。

予定日より遅れましたが元気な女の子。うちの宝がまたもう一人増えました。2番目が男で、女の子は3人です。いまは亡き母が、1人しか子供を持ってなかったの、私に願いを託してくれたのかなあ、なんて考えています。

ありがとうございます。大事にします！ 4人の宝が持てたのも、家族のおかげです。

——34歳にして、いっしょに生きてみて、大げさ。

建物の出火原因は コンロ、放火、タバコの順

「火の用心」冬の夜、静かな町に響くゆったりとした抑揚のあの声は懐かしいものです。でも火事は恐ろしいし、放火はボヤも含めればなんと年1万件以上とか。地震などの天災もありますが、出火原因はやはり人災です。

確実なのは消火器

天ぶら油火災には消火器が一番とか。水をかけたりしては絶対ダメ。大量の水蒸気と油が飛び散り、やけどや炎が部屋中にまわる原因に。鍋のフタとかぬれたシーツをかぶせる方法は空気の遮断ですが、これもやけどする場合があります。火が消えたと思って取ったら再び発火など、思うようには行かないものです。また、消火器の説明書はよく読むこと。バーチャルな世界で分かったつもりになっても、実際の恐怖感はずいからです。地域の消防訓練などには一回は参加しておくのもいいでしょう。

お年寄りには難燃加工の エプロンがオススメ

火を扱う場合はヒラヒラの衣類は厳禁。お年寄りは動作がゆっくりなので、袖などに火がつくまで分からないことも。バジャマ、フリース、割烹着の袖がバーナーの炎に接触するとあっという間です。ウールは火がついてもすぐ燃え上がりませんが、毛足の長いものは表面を炎が走るフラッシュ現象がおきます。今年は難燃加工製品をプレゼントしてみても？

発火が速いのは 健康志向の油

国民生活センターのテストでは、天ぶらの時、成分に特徴がある健康志向の油は低温で発火することがあるとか。(サラダ油より20℃低温「たしかな目2004.11」)。また、最近流行のアロマのランプによるボヤなども増えているそうです。ご用心ご用心！



愛犬に天気予報を聞かせてみました。

広島市 富永久史

明日は散歩に行けるかな？

わが家のチエリーは、十数年も番犬を勤めてくれた老犬ですが散歩が大好き。若い頃の勢いはいものの、私との夕方の散歩が日課でした。朝、洗濯物を干していたら、何かしらいつもと違った様子で「まさか」と不吉な感じがしました。前にも一度ヨロヨロよけたことがあるので、前日の雨に濡れたのがいけなかったのかと気にしながら、仕事に出かけました。

帰宅するとすぐにチエリーを呼びましたが、つじの根元で息絶えていました。「ありがとう長い間！」長生きでチンチンが上手で、散歩中、よく「かわいい」と声をかけてもらったね。

柿の木の根元に埋めて、花を二本あげました。首輪を外す時、すごく切なくて。

—— たくさんの良い思い出をありがとう。



チエリー

熊本県旭志村 永田洋子

あなたのお便りや 写真をお寄せください

●みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。

どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名、お客さま係名をお忘れなく。

紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先。

〒108-0072 東京都港区白金2-6-8
ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室
電話 03(5488)1372
e-mail: koho2@mail.duskin.co.jp

●2ページの北海道のプチホテル「風曜日」は

417号に掲載後、喜びのタネまき新聞のほうが大新聞より反響が大きかったとか。問い合わせや宿泊予約が入ったそうで、町に出かけると初めてのお店に記事の切り抜きが貼ってあり、大変ビックリしたそうです。読者のみなさまがしっかり読んでくださっている証拠。ありがとうございます。

●ホームページでも

「喜びのタネまき新聞」がご覧いただけるようになりました。ホームページのアドレスは <http://www.duskin.co.jp>



前代未聞

福岡県杷木町 伊藤裕子

姪の結婚式に招待され、夫が最後の万歳三唱をすることになりました。小さい頃はオムツもかえたほど可愛がった姪のため、酔っぱらって間違わないように、娘が下書きをし、なんども練習しました。ところが、前に出たとたん、「わたしの母ちゃんと一緒にバンザイします」と急に私を呼ぶではありませんか！

後日、花嫁の姉の便りに「前代未聞で思い出しに残ります。いい夫婦やねと夫と話しました」とありました。私達は結婚二五年、決断していい夫婦ではなく、けんかばかりしています。夫は酒好きで、酔うと人が変わったように気が大きくなります。ひとから言われてなるのも変ですが、いい夫婦になれるよう努力したいものです。

—— ほんとは気が小さくて、母と父が頼り。

**ダスキン豆知識
クイズ**



Q. 火の元に気をつけたい季節ですが、さて、
全国での出火件数は、いったいどれくらいか、
ご存知ですか？



A. 年間56,333件。1日あたり、なんと約154件。ご用心！

この結果からさらに計算をすすめていくと、約9分に1件、火災が発生したことになり、とても他人事と思っていられない数字です。また、そのなかから建物火災の原因としては◎コンロ◎放火◎たばこ◎放火の疑いがあるもの◎ストーブ…といったものが順にあげられます。用心にも用心をかさねてください。火元の確認はもちろん、万一来て備えて消火器を置くことも大切です。とくにダスキンの消火器の場合、あつかいやすく、1.5ℓの大容量の消火力。この冬から、ぜひ。

<平成15年 消防庁「火災の状況」参考>



😊 あなたの喜ぶ顔が見たい。😊

**使わずにいたい。
でも、そこに置いておきたい。**

住宅用では初の、1.5ℓ。 狙いが定まる液体タイプ。
コンパクトなのに容量が多いので、火元を見失いにくく、約28秒間
落着いて消火することができます。の放射時間も消火に効果的です。

国家検定合格品の安心感。 お求めやすい価格に設定。
認められた高い安全性。おすすめ 1.5ℓの消火器としては低価格。
したい大きな理由のひとつです。 ご家庭の防火のシンボルとしても。



国家検定
合格品

ダスキン消火器 1.5L液体タイプ

お客様標準価格 **9,450円** <税込> (設置台付き)

- 外観寸法: 高さ430mm×直径220mm ■ 重量: 約3.8kg
 - 消火薬剤: 強化液消火薬剤(アルカリ性) ■ 消火薬剤容量: 1.5L
 - 放射時間: 約28秒 ■ 放射距離: 3m~7m ■ 適応火災: 天ぷら油火災、普通火災、ストーブ火災、電気火災 ■ 付属品: 専用設置台
- ※ダスキン消火器は国家検定合格の住宅用強化液消火器です。

※この用紙は再生紙を使用しています。

●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行: 広報・広告部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集: 「喜びのタネまき新聞」編集室
〒108-0072 東京都港区白金2-6-8
TEL: 03-5488-1372 FAX: 03-5798-7523

お客様からいただいた個人情報はダスキングループ企業、および加盟店の範囲でのみ利用させていただきます。
また後日、新商品や新サービスのご案内をさせていただく場合があります。
プレゼント配送などのために個人情報を外部委託する際は、弊社の厳正な管理の下で行います。
個人情報の開示・訂正・削除を希望される場合は下記フリーダイヤル、お客様相談窓口までお問合せください。

0120-100100 www.100100.co.jp